

『雪対策功労賞』受賞

小国町除雪協力会

山形県

山形県小国町は昭和38年1月の豪雪により交通が遮断され、数日間にわたり陸の孤島となったことにより、雪の中で暮らすことの恐ろしさや不便さを思い知ることになりました。これを契機に町中心部に居住する住民が一体となって除雪協力が発足しました。

小国町中心部は住宅が密集しており雪捨て場を確保することが難しいのですが、道路の除雪は町が行い屋根や住宅周辺の除雪は住民が行うというルール化がされ、38年間の長い間官民一体となった除雪体制を続けてきました。雪の仮置きは道路敷地を利用し、町所有の除雪車でダンプトラックに積み込みますが、ダンプトラックによる排雪については除雪協力の負担で行っています。運営資金については町内の各戸及び団体から会費を徴収し、基金制度を運用しながら行っています。



実施機関：
小国町除雪協力会

